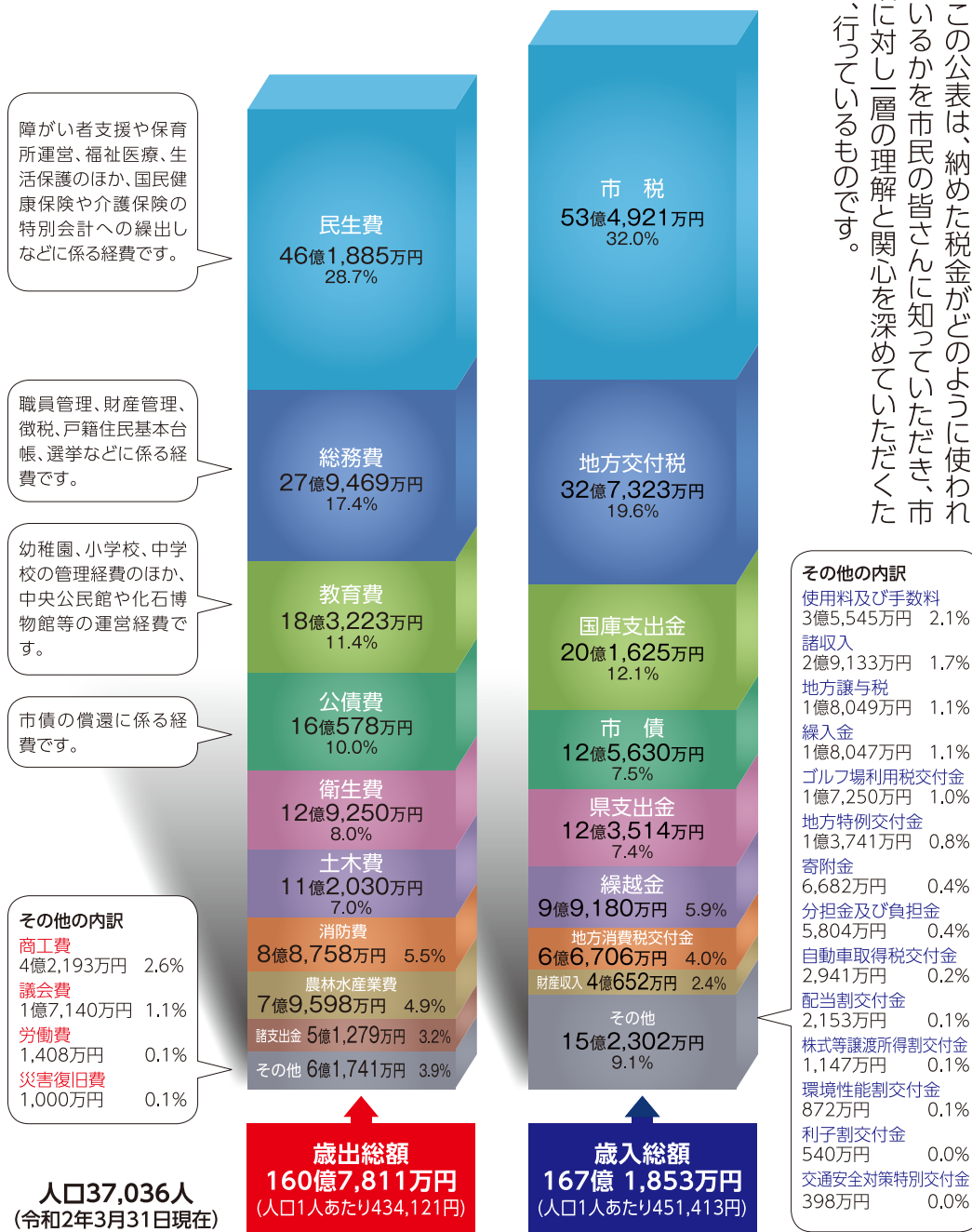


「瑞浪市の決算状況」をお知らせします

この公表は、納めた税金がどのように使われているかを市民の皆さんに知っていただき、市政に対し一層の理解と関心を深めていただくため、行っているものです。

<令和元年度一般会計決算>

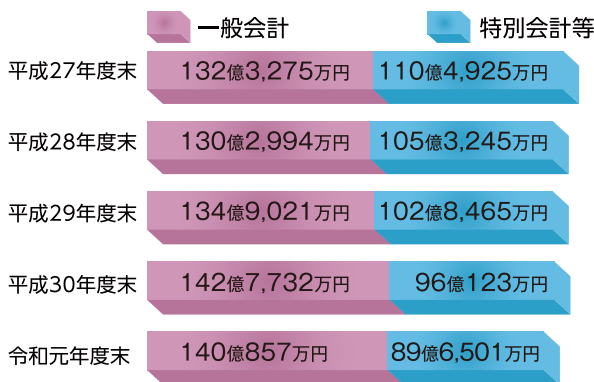


市議会9月定例会で令和元年度決算が認定されました。一般会計の歳入は総額167億1853万円となりました。企業進出などにより市民税および固定資産税が増加し、市税は前年度比7.8%増の53億4921万円となり、歳入の32.0%を占めました。歳出は総額160億7811万円となりました。主な事業として、小・中学校普通教室へのエアコン設置をはじめとする教育環境の充実、消防団拠点施設(公園区)整備による消防力の強化、6次産業化を推進する「ポーノパークハム工房、瑞浪」の建設など、第6次総合計画に位置付けた各施策に取り組みました。特別会計等では、介護サービス事業特別会計が、地域包括支援センターの委託に伴い、令和元年度をもって廃止となりました。今後も適正な財政運営のもと、市民一人ひとりが快適に暮らせるまちづくりを行います。



▲ポーノパークハム工房“瑞浪”

◆市債残高の状況



道路整備や学校建設などの大きな事業を行う際には多額の資金が必要となります。しかし、その資金を単年度で確保することが困難である場合には、市債(市の借金)を借り入れて事業を行います。市債には、将来の税金を返済に充てることで、整備される施設の費用負担を、利用する世代間で公平にするという効果もあります。

令和元年度は財政融資資金などの政府資金と銀行など民間資金を借入先としています。市債残高は瑞浪北中学校施設整備の完了に伴い、3年振りに減少しました。今後も返済能力の範囲内で計画的に活用していきます。

◆令和元年度特別会計決算の状況

特別会計とは、特定の事業に伴う使用料や手数料などによってその事業を行うための会計で、歳入・歳出の状況を分かりやすくするために一般会計と区別しています。

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
特別会計 計	76億6,280万円	75億7,831万円	8,449万円
後期高齢者医療事業特別会計	4億9,484万円	4億8,594万円	890万円
国民健康保険事業特別会計	36億6,185万円	36億2,737万円	3,448万円
介護保険事業特別会計	34億5,439万円	34億1,601万円	3,838万円
介護サービス事業特別会計	506万円	506万円	
駐車場事業特別会計	4,666万円	4,393万円	273万円

水道事業・下水道事業決算状況を報告します ◎問合せ 上下水道課 ☎68-9821

水道事業

白倉地区配水区変更事業として、白倉配水池へと接続する送配水管の布設工事を実施しました。

業務状況と経理状況 給水人口 36,417人 年間有収水量 3,818,676m³ (前年度比較60,006m³減)

収益的収支				資本的収支			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	9億2,223万円	営業費用	10億6,450万円	工事負担金	972万円	建設改良費	2億5,092万円
営業外収益	1億9,225万円	営業外費用	2,721万円	分担金	2,957万円	企業債償還金	1億7,382万円
特別利益	155万円	特別損失	4万円	出資金	6,443万円		
				補助金	2,672万円		
計	11億1,603万円	計	10億9,175万円	計	1億3,044万円	計	4億2,474万円

下水道事業(公共下水道・農業集落排水事業)

農業集落排水施設の統合工事、山田町入ヶ洞地区の下水道管布設工事を実施しました。

業務状況と経理状況 水洗化人口 26,316人 (公共下水道 24,893人 農業集落排水 1,423人) 年間有収水量 2,707,995m³ (前年度比較15,464m³減)

収益的収支				資本的収支			
収入		支出		収入		支出	
営業収益	5億5,179万円	営業費用	9億9,244万円	企業債	8,230万円	建設改良費	1億7,367万円
営業外収益	5億8,373万円	営業外費用	1億3,535万円	負担金	598万円	企業債償還金	5億3,369万円
特別利益	67万円	特別損失	7万円	出資金	2億782万円		
				補助金	7,256万円		
計	11億3,619万円	計	11億2,786万円	計	3億6,866万円	計	7億736万円